

プラスチックについて考えよう

身近で便利なプラスチック。でも自然界ではなぜか“やっかいもの”に。私たちの生活になくてはならないものだからこそ、より良い付き合い方が求められています。

「プラスチック」って、何？

○ とても便利で身近な存在
いまや生活に欠かせないプラスチック。あらゆるところで幅広く活用されています。

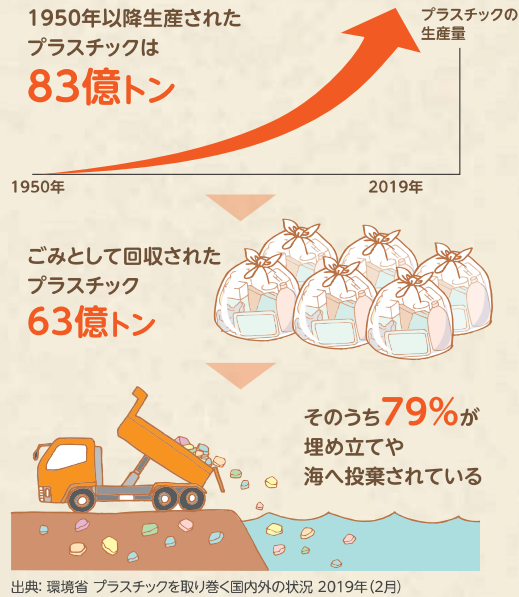


✕ 処分する際のやっかいもの
再利用率が低く、石油から作られているため、燃やすとCO₂が発生。地球温暖化にもつながります。自然分解はほとんどされません。



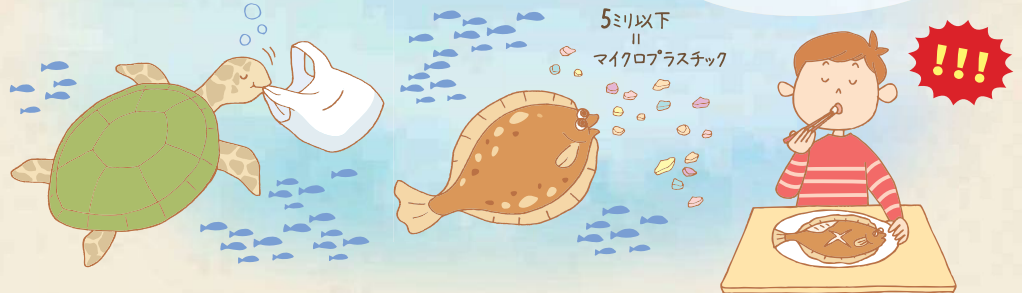
世界のプラスチックの現状

ごみとして回収されたプラスチックのリサイクル率はわずか9%。79%は埋め立て、あるいは、海洋などへ自然投棄されています。



海に捨てられたプラスチックはどうなるの？

自然分解されないプラスチックは、ごみとしているような問題を起こします。ごみがあれば景色は悪くなり、海の生き物が間違えて食べると生態系にも悪影響を与えます。



マイクロプラスチックって何？

大きさが5mm以下の小さなプラスチックのこと。ペットボトルなどのプラスチックは波の力や紫外線の働きでどんどん細かくなっていきます。それを海の生き物が食べてしまうと、必然的に私たちの体内にも入ってきます。

私たちにできることって、何？

私たちにできる身近なエコ **ごみの分別と「3R」**

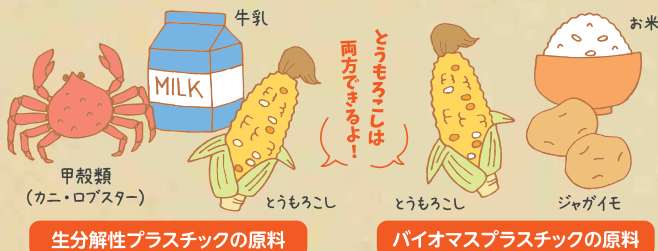
プラスチックを全く使用しないことはほぼ不可能。プラスチックごみそのものを、私たちの身の回りから減らしていくことが、エコ活動の第一歩になります。

今できることから始めてみませんか？

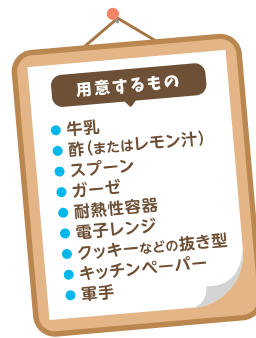


ー バイオプラスチックって、どんなもの？ ー

プラスチックの代替素材として注目されているのが、バイオプラスチックです。微生物によって自然に還ることができる「生分解性プラスチック」と、再生可能な有機資源を原料に製造される「バイオマスプラスチック」があります。日用品や工業製品への応用も始まっていますが、プラスチックに取って代わるには、まだまだ研究途上です。



実験 牛乳から生分解性プラスチックを作ってみよう！



※大人と一緒に作ってください。

